

【天国への手紙

2020年7月5日 放送分】

店長へ

ラジオネーム：たろし

店長、そちらでもお元気でやっていますか？

きっと店長のことだから、料理を誰かにふるまっていそうですね。

最近、店長の喫茶店があったお店の前を通ったんです。

当時はとても華やかでおしゃれだったのに、店長が亡くなり、

引き継ぐ人もいなくなった今は、物家の殻です。

あの喫茶店の常連だった僕にとっては、とても寂しい光景です。

店長がお店をやっていた当時、僕は大学生でしたよね。

そして決まって頼んでいたのが、ナポリタン。

濃いめのケチャップ、玉ねぎやにんじんなど大きく切られた野菜や

細切りのハムが絡み、どこか家庭的ではあるけど、

自分では決して作ることでできない、あの味にドはまりましたね。

ただ…僕が何度レシピを聞いても、最後まで教えてくれませんでしたね。

「食いたきゃ、うちの喫茶店に來い」の一点張りでしたね。

たまに自分でナポリタンを作りますが、店長の味には全然近づけません。

また、「サービスだ」と、いつも大盛りしてくれましたよね。

当時食べ盛りだった僕にとってはとても嬉しかったのを覚えています。

たまに、「こじは喫茶店なんだから、俺の淹れた」コーヒーも飲み「って

言ってみましたよね。

今となっては、店長の淹れたコーヒーを飲んでみたかったなあと後悔しています。

僕がどうやっても、あのナポリタンの味を再現できないのは、

もしかしたら店長の『愛情』っていう調味料が一番効いていたからなんじゃないかな？なんて考えていました。

ああ、もう一度あのナポリタンが食べたい。

店長、いつか僕がそっちに行った時も、食べさせてくださいよね。

リクエスト曲

△ デリシヤスウェイ

／

倉木麻衣

▽